

青森市指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 開催日時 平成30年10月18日(木) 10:20~11:00
- 2 開催場所 青森市役所 第3庁舎 1階会議室
- 3 対象施設 青森市浪岡中央公民館
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 横内 修 (企画部理事次長事務取扱)
副委員長 山谷 直大 (総務部理事次長事務取扱)
委員 岩船 彰 (青森中央学院大学教授)
委員 佐々木 信一 (東北税理士会青森支部税理士)
委員 川村 敬貴 (税務部次長)
委員 工藤 健志 (経済部次長)
委員 永澤 治 (農林水産部次長)
 - (2) 施設所管課 浪岡教育事務所 教育課 課長 兼平 慶治
副参事 鶴賀谷 敏彦
主事 相馬 まい
 - (3) 制度所管課 企画部 企画調整課 課長 舘山 公
主幹 高野 新
主査 吉田 敏和
主査 小笠原 誉史
- 5 案 件
「指定管理者候補者の選定」に係る審査
- 6 会議概要 応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、指定管理者候補者の選定を行った。
 - (1) 審査結果
 - ①指定管理者候補者
 - ・名称 浪岡生涯学習施設管理運営協議会
 - ・住所 青森市浪岡大字浪岡字岡田5番地22
 - ・代表者 会長 山内 健逸
 - ②指定期間
平成31年4月1日からの5年間
 - ③選定理由
 - ・応募資格を満たしていること。
 - ・最低得点(72.5点)以上の点数(84.51点)を獲得していること。
 - ・「効率性について」を除いた場合に、普通とした点数の合計(60.0点)以上の点数(68.86点)を獲得していること。

7 主な質疑内容

- 委員：地区公民館と連携しての事業はユニカール交流会のほかにあるか。
応募団体：事業そのものはないが、地区公民館にない物品や設備などの貸出を行うため、日常的に連携している。
- 委員：ソフト事業実施計画書で、青少年教育講座を開講式・閉講式を含め年間12回開催としているが、開講式・閉講式でも事業のようなことを実施しているのか。
応募団体：開講式・閉講式に参加する子ども達に、自己紹介をしてもらうなどそれぞれ役割をもたせているため、事業としてカウントしている。
- 委員：事業の実施にあたり、浪岡中央公民館管内の各種団体と協力、連携とは具体的にはどのようなものか。
応募団体：「公民館まつり」で各団体のブースを設けるなど協力、連携している。
- 委員：職員による施設内の安全確認とは、どのように実施しているのか。
また、誰がどこを点検したのか記録しているか。
応募団体：全ての部屋について開館前に目視点検を行い、点検者、異常の有無について記録している。
- 委員：パソコンについてはどのようなセキュリティ対策をしているのか。
応募団体：一般的なセキュリティ対策を行っており、公民館のパソコンで作成したデータを自宅へ持ち帰らない等、外部との共有を禁止することを職員に周知している。
- 委員：物品の調達や委託契約にあたって障がい者雇用に積極的な企業とはどのような会社か。
応募団体：頻度としては少ないが、冊子作成等で印刷会社に依頼している。
- 委員：維持管理の仕様を上回る提案はあるか。
施設所管課：維持管理の仕様に変更はないため、それを上回る提案もない。
- 委員：ソフト事業計画書に記載の通りの講座回数でよいか。また、自主事業について提案なしということによいか。
施設所管課：はい。